

# 中標津町地域公共交通会議

平成20年9月25日設置

中標津町

## 概要

中標津町内の公共交通は、郡部と市街地を結ぶ町有バスと市街地を運行している市内循環線が存在している。とりわけ、郡部と市街地を結ぶ町有バス路線は、著しいバス利用者の減少に伴い、運行収支が赤字であり、1便当たりの利用者数も少なく、非効率的な運行を強いられている。また市街地においては、住宅地の拡大や大型商業施設の郊外部立地に伴う交通空白地域の発生が課題となっている。こうした現状や住民ニーズを踏まえ、将来に渡って持続可能な公共交通体系を構築することを目的に、地域公共交通の確保・維持、及び地域活性化に資する「中標津町生活交通ネットワーク計画」を策定する。

### ○地域公共交通の現況

- ・市内循環線(1路線)
- ・都市間バス路線(3路線)
- ・町有バス路線(3路線)

### ○地域公共交通の課題

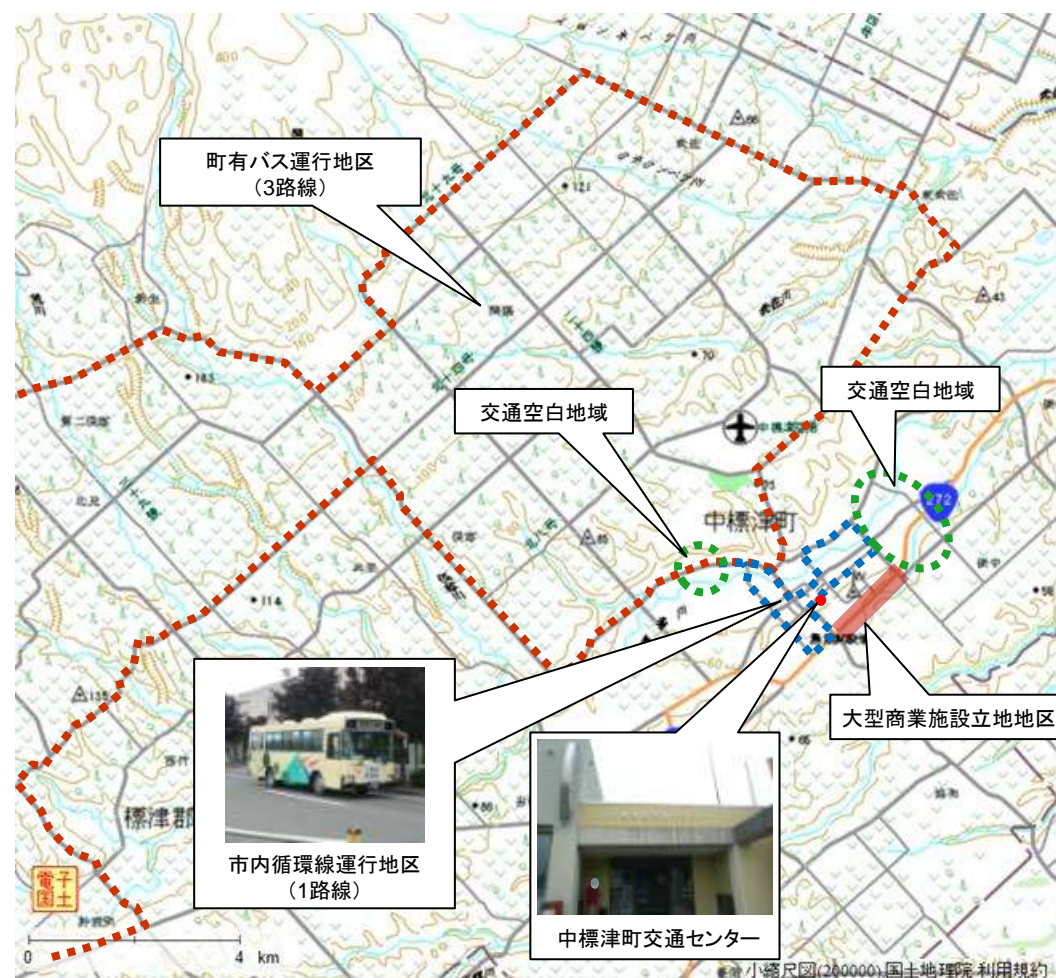
- ・非効率的な町有バスの運行
- ・著しいバス利用者の減少
- ・市街地における住宅地の拡大や郊外部への大型商業施設立地に伴う交通空白地域の発生

### ○調査の主な内容

- ・現況把握調査
- ・バス利用実態調査
- ・バス交通に関するアンケート調査

### ○地域公共交通会議開催状況

平成24年 11月1日 第1回協議会 ・地域の課題、アンケート調査について  
平成25年 2月14日 第2回協議会 ・バス乗降調査、市内循環線のルート案、バス再編計画(素案)について  
平成25年3月1日 第3回協議会 ・市内循環線の見直し(案)、生活交通ネットワーク計画(素案)について



# 中標津町地域公共交通会議 調査事業の取組状況

## ●調査事業の結果概要

- ・中標津町の現況把握調査、住民アンケート調査、市内循環線・町有バス路線利用実態調査を実施し、中標津町の地域・交通課題を把握した。
- ・郊外部への路線延伸を基本とした市内循環線見直しや農村部への需要に応じた新しい交通システムの導入について検討を行った。
- ・中標津町の地域・交通課題を踏まえ、地域公共交通の維持・確保に資する「中標津町生活交通ネットワーク計画(素案)」を検討した。

## ●調査事業実施の適切性

地域内フィーダー系統確保維持事業に向け、生活交通ネットワーク計画策定に必要な調査を実施することができた。

## ●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

- ・平成26年度、地域内フィーダー系統確保維持改善事業費国庫補助金の申請を予定。

### 【事業内容】

- ・中標津町市街地を運行する市内循環線の路線・ダイヤ等の見直しを行う予定。
- ・町有バス路線に対して、利用実態に応じた新たな公共交通システムを導入する予定。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

- ・市内循環線バス路線・ダイヤ等の見直し及び新たな公共交通システムの導入に当たっては、既存の公共交通との乗り継ぎ円滑化、町内全体の交通体系のあり方にも留意されたい。
- ・将来的な持続可能性にも配慮した運賃及び広告収入のあり方並びにそれらを踏まえた自治体及び事業者等との間の費用分担のあり方についても検討されたい。